**子どもキャンパスプロジェクト2023プログラム申請書**

※セル幅は適宜変更可。ただし本申請書は4ページとすること。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| テーマ（どちらか選択） | あそびとまなび | 竹 |
| プログラム名 |  |
| 新規・継続（どちらか選択） | 新規 | 継続 |
| 対象校種（複数選択可） | 幼児 | 小学校 | 中学校 | 高校 | 特別支援 |
| 1回あたり所要時間 | 時間 | 1回あたり受入可能人数 | 名 |
| 予算総額（上限10万円） | 円（別紙２「必要経費内訳書」のとおり） |
| プログラム代表者（学生の場合は学籍番号欄も　記載してください） | 氏名 |  |
| 所属 |  |
| 学籍番号 |  |
| メールアドレス |  |
| 企画の内容 | １．概要 |
|  |
| ２．プログラムの目的・特色（目標，ねらいなど） |
|  |
| ３．期待される効果又は予想される成果 |
|  |
|  | ４．倫理上の配慮（個人情報の保護，安全面への配慮，協力承諾等の確認等） |
|  |
| ５．実施計画（必要経費との関係を明確にし，具体的な方法を記述）施設利用の希望　 |
|  |
| ６．今年度のスケジュール |
| 6月 |  |
| 7月 |  |
| 8月 |  |
| 8/11 | 第3回「あつまれ！子どもキャンパス」参加希望 | あり | なし |
| 9月 |  |
| 10月 |  |
| 11月 |  |
| 11/23 | 第4回「あつまれ！子どもキャンパス」参加希望 | あり | なし |
| 12月 |  |
| 1月 |  |
| 2月 |  |
| 3月 |  |
| ７．構成員名簿 |
| 番号 | 氏名 | 所属 | 学年 | 学籍番号 | 備考 |
| 　１ |  |  |  |  |  |
| 　２ |  |  |  |  |  |
| 　３ |  |  |  |  |  |
| 　４ |  |  |  |  |  |
| 　５ |  |  |  |  |  |
| 　６ |  |  |  |  |  |
| 　７ |  |  |  |  |  |
| 　８ |  |  |  |  |  |
| 　９ |  |  |  |  |  |
| １０ |  |  |  |  |  |
| １１ |  |  |  |  |  |
| １２ |  |  |  |  |  |
| １３ |  |  |  |  |  |
| １４ |  |  |  |  |  |
| １５ |  |  |  |  |  |
| １６ |  |  |  |  |  |
| １７ |  |  |  |  |  |
| １８ |  |  |  |  |  |
| １９ |  |  |  |  |  |
| ２０ |  |  |  |  |  |
| ２１ |  |  |  |  |  |
| ２２ |  |  |  |  |  |
| ２３ |  |  |  |  |  |
| ２４ |  |  |  |  |  |
| ２５ |  |  |  |  |  |
| ２６ |  |  |  |  |  |
| ２７ |  |  |  |  |  |
| ２８ |  |  |  |  |  |
| ２９ |  |  |  |  |  |
| ３０ |  |  |  |  |  |

総員30名を超過する場合：上記他　　　　名

・　学生と連携する場合は，学生の学年・学籍番号を記入すること

・　代表者を含め，3名以上とすること

・　学生が主体となる場合は、原則として教員1名を入れること

継続申請にあたっての追加説明（継続プログラムのみ記載すること。）

|  |
| --- |
| ８．このプログラムが継続して実施されることが必要な（望まれる）理由 |
|  |
| ９．前年度プログラムの課題と対策及び今年度の特色 |
|  |
| １０．その他　特にアピールしたい点があれば記入 |
|  |

**子どもキャンパスプロジェクト2023プログラム申請書**

記入例

※セル幅は適宜変更可。ただし本申請書は4ページとすること。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| テーマ（どちらか選択） | あそびとまなび | 竹 |
| プログラム名 | やってみよう！××××体験プロジェクト |
| 新規・継続（どちらか選択） | 新規 | 継続 |
| 対象校種（複数選択可） | 幼児 | 小学校 | 中学校 | 高校 | 特別支援 |
| 1回あたり所要時間 | 2時間 | 1回あたり受入可能人数 | 30名 |
| 予算総額（上限10万円） | 100,000円（別紙２「必要経費内訳書」のとおり） |
| プログラム代表者（学生の場合は学籍番号欄も　記載してください） | 氏名 | 愛教　太郎 |
| 所属 | ○○教育講座 |
| 学籍番号 |  |
| メールアドレス | \*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*@\*\*\*\*.ne.jp |
| 企画の内容 | １．概要 |
| 私の研究分野である○○○○では、××××の子どもたちに対する影響を研究している。　勉強が苦手な子どもにとって、××××は非常に効果的であるとの論文も多く発表されている。そこで今回、××××を本学のキャンパスで展開することで、××××の効果を検証するとともに、学生の学びや自分自身の授業等にも反映させる。 |
| ２．プログラムの目的・特色（目標，ねらいなど） |
| 　まずは協力してくれる学生とともに××××に関する△△△△を自主製作する。　製作した△△△△を◎◎小学校（前年度）・□□中学校の協力を得て、子ども達に提供し、その問題点等を洗い出す。　改善した△△△△をキャンパス内に設置し、キャンパスに訪れる子どもたちに提供する。子どもたちに帰宅する際にアンケートを記入してもらい、××××の影響について調査するとともに、協力してくれた学生の指導スキルについても調査する。 |
| ３．期待される効果又は予想される成果 |
| 　子どもたちの◎◎◎◎◎◎◎◎に合わせた教材を製作し、△△△△△△△△△△することで自分たちの○○○○○○○○を図ることができる。またこれらの経験を××××××××××××の機会に○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○とすることができる。 |
|  | ４．倫理上の配慮（個人情報の保護，安全面への配慮，協力承諾等の確認等） |
| 　著作権等に注意し、オリジナルの教材となるように配慮する。また子どもたちが使用するにあたり、○○○○○○○○○○○○○○○○○○○を配慮し×××××××××とした教材となるようにする。 |
| ５．実施計画（必要経費との関係を明確にし，具体的な方法を記述）施設利用の希望　 |
| ○教材製作　様々な材料を基に、○○○○の特徴をだした教材を製作する。○近隣小学校との協力　◎◎小学校（前年度）・□□中学校を訪問して実際に子どもたちに××××してもらい、○○○○ことで◎◎◎の特色を持った教材を製作する。○施設利用希望　月1回のミーティングができる場所を確保してほしい。 |
| ６．今年度のスケジュール |
| 6月 | スタートアップ会議参加者の担当決定 |
| 7月 | 教材の材料発注（一部）教材製作開始 |
| 8月 | 教材製作 |
| 8/11 | 第3回「あつまれ！子どもキャンパス」参加希望 | あり | なし |
| 9月 | 教材完成 |
| 10月 | 子どもたちと××××をする（□□中学校出張） |
| 11月 | 中間報告会議反省点・改善点の洗い出し |
| 11/23 | 第4回「あつまれ！子どもキャンパス」参加希望 | あり | なし |
| 12月 | 教材の材料発注（全部）教材製作 |
| 1月 | 教材完成 |
| 2月 | 大学キャンパスにて××××をテストする活動報告書の作成 |
| 3月 | 最終報告会議次年度以降のスケジュール決定 |
| ７．構成員名簿 |
| 番号 | 氏名 | 所属 | 学年 | 学籍番号 | 備考 |
| 　１ | 愛教　太郎 | ○○教育講座 |  |  | 代表者 |
| 　２ | 愛教　次郎 | ○○教育講座 |  |  |  |
| 　３ | 愛教　三郎 | ○○教育講座 |  |  |  |
| 　４ | 愛教　四郎 | 初等・○○選修 | ３ | 22\*\*\*\*\* |  |
| 　５ | 愛教　五郎 | 初等・○○選修 | ３ | 22\*\*\*\*\* |  |
| 　６ | 愛教　六郎 | 初等・○○選修 | ３ | 22\*\*\*\*\* |  |
| 　７ | 愛教　七郎 | 初等・○○選修 | ３ | 22\*\*\*\*\* |  |
| 　８ | 愛教　八郎 | 中等・○○専攻 | ２ | 22\*\*\*\*\* |  |
| 　９ | 愛教　九郎 | 初等・○○選修 | ２ | 22\*\*\*\*\* |  |
| １０ | 愛教　十郎 | 初等・○○選修 | ２ | 22\*\*\*\*\* |  |
| １１ | 愛教　○○ | 初等・○○選修 | ２ | 22\*\*\*\*\* |  |
| １２ | 愛教　△△ | 義務教育専攻・○○専修 | １ | 22\*\*\*\*\* |  |
| １３ | 愛教　■■ | 義務教育専攻・○○専修 | １ | 22\*\*\*\*\* |  |
| １４ | 愛教　◎◎ | 高等学校教育専攻・○○専修 | １ | 22\*\*\*\*\* |  |
| １５ | 愛教　□□ | 高等学校教育専攻・○○専修 | １ | 22\*\*\*\*\* |  |
| １６ |  |  |  |  |  |
| １７ |  |  |  |  |  |
| １８ |  |  |  |  |  |
| １９ |  |  |  |  |  |
| ２０ |  |  |  |  |  |
| ２１ |  |  |  |  |  |
| ２２ |  |  |  |  |  |
| ２３ |  |  |  |  |  |
| ２４ |  |  |  |  |  |
| ２５ |  |  |  |  |  |
| ２６ |  |  |  |  |  |
| ２７ |  |  |  |  |  |
| ２８ |  |  |  |  |  |
| ２９ |  |  |  |  |  |
| ３０ |  |  |  |  |  |

総員30名を超過する場合：上記他　　　　名

・　学生と連携する場合は，学生の学年・学籍番号を記入すること

・　代表者を含め，3名以上とすること

・　学生が主体となる場合は、原則として教員1名を入れること

継続申請にあたっての追加説明（継続プログラムのみ記載すること。）

|  |
| --- |
| ８．このプログラムが継続して実施されることが必要な（望まれる）理由 |
| 　前年度プログラムでは、△△△△を◎◎小学校の協力を得て○○○○することで××××の効果の検証について一定の成果を上げることができた。一方で、前年度実施した結果をもとに×××××××××を見直すことで、対象校種を拡大して提供することが可能だと想定される。対象校種が拡がれば自分たちの○○○○○○○○を一層図ることが期待できるため、引き続きこのプログラムを実施したい。 |
| ９．前年度プログラムの課題と対策及び今年度の特色 |
| 前年度プログラム実施の結果、△△△△について××××××××としていため対象校種が限定されていた。この点について、今年度は○○○○○○○○とすることで対象校種を拡げ、さらに□□中学校の協力のもと改良を行うことで、××××が子どもたちに及ぼす影響についてさらなる調査と検証を行う。 |
| １０．その他　特にアピールしたい点があれば記入 |
|  |